

こども園検討委員会での意見まとめ（抜粋）

1 こども園検討委員会とは

こども園検討委員会は、富士見、玖須美、広野及び宇佐美保育園の保育士と宇佐美幼稚園へ人事交流をした保育士から構成され、(1)幼稚園への人事交流に配属された保育士の意見発表、(2)視察に係る意見交換、(3)ワーキンググループでの検討事項の協議を行う。

検討委員会では今後、伊東市幼児施設連絡調整協議会やワーキンググループの動向を踏まえ協議、検討していく。

(1) 人事交流職員からの意見内容

- ・ 幼稚園の一日の仕事内容、夏季の開園状況、夏季の預かり保育の体制、事務作業の内容、預かり保育職員以外の業務内容。
- ・ 衛生面、環境面、研修等で違いがあった。
- ・ 幼稚園では休暇が取得できた。
- ・ コドモン（園務改善システム）の既存書式で対応できるか検討が必要。

(2) 視察に係る検討内容

- ・ 園の規模は、定員 100～120 名程度が望ましい。
- ・ 保育時間及び保育内容は、1 号、2 号で差が無いようにした方が良い。
- ・ 父母の会、保護者会は活動内容のすり合わせが必要。
- ・ 津波を想定した安全な造りや暑さ対策をした構造が望ましい。
- ・ 宇佐美地区に子育て支援室があると良い。
- ・ 玄関前に職員室があるのは良い。
- ・ 病児保育、一時保育を行う部屋、シャワー室、ランチルーム、自由に製作活動できる部屋、収納スペース、防災用備蓄品が置ける十分な広さの部屋が必要。

(3) ワーキンググループでの検討事項協議内容

- ・ 幼保連携認定こども園愛育クラブへの視察を行った。
- ・ 保育園と幼稚園の違いについて意見交換を行った。